

## 学生からの提案に応じて ウォーターサーバーを市役所に設置

3月16日、ウォータースタนด์株式会社との協力を得て市役所本庁舎に設置したウォーターサーバーのお披露目式を行いました。

これは、昨年10月に開催したプラスチックごみ削減キックオフイベントで、トークセッションに参加した学生から公共施設にマイボトル用ウォーターサーバー設置の提案があり、それに応えたものです。同イベントの協賛事業者である同社と「プラスチックごみ削減協定」を締結し、市役所本庁舎2階食堂と豊岡稽古堂に1台ずつ設置しました。

今後、振興局や図書館などにも設置して、ペットボトルなど使い捨てプラスチック製品の使用を減らし、プラスチック製品の問題解決に向けた取り組みを推進していきます。

《問合せ》生活環境課 ☎23-5304



▲稽古堂に設置したウォーターサーバー。マイボトルを持参すれば、水分を補給できる

## しなやかさと共生の社会経済の実現を目指して 豊岡市経済ビジョンを策定

3月24日、本市の10年後の社会経済のあるべき姿と、その実現に必要な取組みの方向性を示した「豊岡市経済ビジョン」を策定しました。

本ビジョンは、このまちが持つ豊かなポテンシャルを再評価し、まち全体で「レジリエンス(しなやかさ・耐性)」と「共に生きる経済」を備えた社会経済の実現を目指すものです。

その実現に向けて①固定観念からの脱却とビジネス創出の仕組みづくり②経済・産業の領域を超えた連携の環境づくり③地域固有の価値(強み)の磨き上げ④チャレンジを続けられる環境づくりの4つの取組みの方向性を定めました。

今後、本ビジョンに基づく具体施策を検討し取り組んでいきます。

《問合せ》環境経済課 ☎23-4480



▲ビジョン策定に向けて学生・移住者・女性経営者などとワークショップを実施した



◀ビジョンの詳細はこちら

# 市政 ニュース

### 3月

- 16日 ウォーターサーバーお披露目式
- 24日 豊岡市経済ビジョンの策定
- 25日 静修小学校・高橋小学校閉校式、高橋認定こども園閉園式
- 27日 第2期豊岡市スポーツ推進計画の策定
- 31日 豊岡市生物多様性地

### 4月

- 1日 八代小学校の小規模特認校制度導入の決定
- 3日 水道料金の改定
- 7日 豊岡市デジタルアドバイザーの招請
- 9日 新任職員辞令交付式
- 9日 日高小学校統合式
- 9日 合橋小学校統合式
- 9日 兵庫県議会議員選挙 投票票日



## 「静修魂」を胸に刻み学び舎と別れ 静修小学校閉校式を開催

3月25日、静修小学校閉校式を行いました。

式典には、児童や保護者、地域住民ら約210人が参加。西坂一郎校長が「君たちの未来にはこれからもたくさんハードルがあると思いますが、学校や家庭、地域の愛情いっぱいの中で育まれてきた『静修魂』を胸に刻み、勇気を持って立ち向かってほしいです」とエールを送りました。また、児童代表の6年生藤田裕道さんは「第二の家のような静修小学校で培った経験は、必ず次の学校でも生かしていきたいです」と述べました。

式典後には、地域主催による記念行事が行われ、3年生以上の児童全員が演奏する金管バンドの伴奏に合わせ、1・2年生の児童が力いっぱい校歌を歌いました。

なお、4月に静修小学校は日高小学校に統合しました。

《問合せ》教育総務課 ☎23-11117



▲50年の歴史がある金管バンドによる演奏



▲143年の歴史を振り返ったスライドショー

## お世話になった学校に心から感謝 高橋小閉校式・高橋こども園閉園式を開催

3月25日、高橋小学校閉校式および高橋認定こども園閉園式を行いました。

児童や保護者、地域住民ら約170人が集まって行った式典では、河本澄校長が「子どもたちはコロナ禍で大きな影響を受けましたが、学びを着実に積み上げてきました。統合後も多くの仲間と切磋琢磨し、さらなる飛躍を確信します」と話しました。また、児童代表の5年生衣川空希さんは「今までお世話になった学校に感謝の気持ちを伝えたいです。この学校での思い出を胸に一生懸命頑張ります」と別れの言葉を述べました。

式典後には、PTA主催による記念行事が行われ、子どもたちは合唱曲「大切なもの」を心を込めて歌い、学び舎との別れを惜しみました。

なお、4月に高橋小学校は合橋小学校と、高橋認定こども園は合橋認定こども園と統合しました。

《問合せ》教育総務課 ☎23-11117



▲全校生による合唱披露



▲こども園での思い出を発表する児童

## 地域内外の人が関わり地域を元気に 地域コミュニティ共同研究報告会を開催

3月19日、市役所庁議室で、地域コミュニティに関する共同研究報告会を開催し、74人が参加しました。これは、島根大学教育学部と共同で進めてきた地域づくりの成果報告と、これからの活動のあり方を考える機会として実施したものです。

基調報告では同大学の作野広和教授が「地域の活動に女性や若者が気軽に参加したり、意見が言えたりする仕組みや工夫が必要。今後、楽しみながら地域内外の人が関わり、地域を元気にしていくってほしい」と提言されました。

また、パネルディスカッションでは、地域づくり活動を実践している市民4人が登壇し「都市部からの農村ボランティアの受け入れ」「移住者としての地域との関わり」「空き家対策を通じた地域づくり」「地域の福祉人材が情報連絡・共有する場づくり」について事例発表と意見交換を行い、参加者は今後の活動のヒントを得ていました。



▲地域づくりに関する先進事例が発表されたパネルディスカッション

《問合せ》地域づくり課

☎21-9020